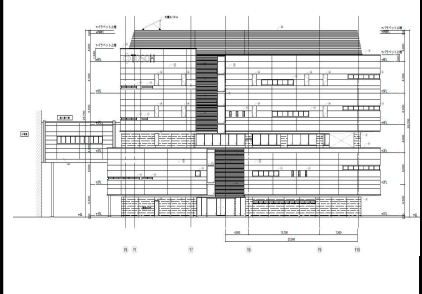


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京研究センターリニューアル計画	階数	地上5F
建設地	神奈川県綾瀬市早川字上原2743-1、2743-10、2743-11、2743-12、2743-13、2791、2792-1、2792-5	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年04月 予定	評価の実施日	2023年04月19日
敷地面積	3,759 m ²	作成者	プランス㈱一級建築士事務所
建築面積	2,567 m ²	確認日	2023年04月28日
延床面積	11,754 m ²	確認者	プランス㈱一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 78% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
早川バス停から歩いて約7分の工業専用地域に事務所を計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
壁・床・天井のうち二面に吸音材を使用している。照度が500lx以上1000lx未満。	事務室の天井高2.7m 給水VP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。階高:3.9m以上。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.8 [BEI][BEIm] = 0.71、LED照明設備を導入。	OA、「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率78% 光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される